

まちの目記帳



私たちの町の豊かな自然 第2回少年教室「自然観察会」

6/22

サクラマスサクチュアリーセンターと隣接する「元気の森」で第2回少年教室「自然観察会」が開催されました。

この教室は、余別川を舞台に、サクラマスをはじめとする川の生き物の生活や、森・海・川のつながりを学び、ふるさとの自然環境の豊かさを体感することを目的に開催され、生徒たちは最初にサクラマスサクチュアリーで河村環境生態系保全技術指導員の話とビデオ鑑賞を行った後、元気の森で河村指導員の説明を受けながら昆虫や植物の観察を行いました。

晴天の下、野外を元気に散策した生徒たちは、興味深そうにふるさとの自然に触れていました。



今年もふるさと応援団が来町 「札幌しゃこたん会」周遊ツアー

7/6

札幌とその近郊に在住している積丹町出身者で構成される「札幌しゃこたん会」（三上初夫会長：会員87名）が主催する年に1度の恒例行事、「積丹周遊バスツアー」が行われ、24名の会員が来町し、神威岬や旧幌武意小学校での文化財見学、水中展望船などを楽しみました。

夜には懇親会が開催され、地元からは山本俊三ふるさと振興協議会長や松井町長、岩本議長らも駆けつけ、参加者たちは再会を喜び、積丹町の旬の食材と美味しいお酒を味わいながら故郷の思い出話に花を咲かせ、また来年の再会を約束しました。



となり町のお友達と交流 第1回びくに保育所交流会

7/9

美国保育所「ぞう組」の児童6名とふるびら幼児センターみらい「たいよう組」の児童18名との交流会がびくに保育所で行われました。

最初に自己紹介で名前や好きな食べ物などを話し、初対面のお友達を前に照れている様子でしたが、手遊びや「線おに」や「たけのこいっぼん」の集団遊びを一緒に行っているうちに最後にはすっかり仲良くなっている様子でした。

最後は写真撮影とお別れの挨拶をして、「また一緒に遊ぼうね」と約束し、お別れしました。



妊婦とママの勉強会 簡単レシピの「離乳食教室」

7/10

妊娠期から1歳未満の子どもがいる家族を対象とした離乳食教室が総合文化センターで開催され、8組の親子が参加しました。

講師には在宅栄養士の神山悦子さん（余市町）を迎え、「コーンフレーク粥」や「ツナとブロッコリーのヨーグルト風味」など赤ちゃんの発達に合わせた種のレシピが紹介され、自分の子どもに合わせた「すりつぶし」の実習なども行われました。

参加者の方からは「他のお母さん方と交流が深まってよかった。この教室以外にもこんな交流の場を作ってほしい」というコメントもいただき、お母さんたちは意見交換などをしながら交流を深めていました。



北しりべしの魅力を伝える 手稲駅「あいくる」でPR活動

7/17

7/18

2日間に渡り、観光協会と町の職員が手稲駅「あいくる」（駅南北の市街地を繋ぐ自由連絡通路）で町名製品のPR、パンフレット配布、珍味の試食などを行いました。

このイベントは「北しりべし圏域PR推進事業」として北しりべし定住自立圏を構成する市町村との共同により、各自治体の夏季のイベントPRを通じて、札幌圏の住民へ広く北しりべしの魅力をPRし交流の活性化を図ることを目的として行われました。

訪れた方は、各自治体の観光案内等の説明を受けて北しりべしの5町村への関心を深めているようでした。



積丹の魅力をプレゼンテーション ーサッポロビアガーデンー

7/19

積丹観光協会（佐藤勝次会長）は、札幌大通公園で行われているサッポロビアガーデンで北海道各地のグルメや特産品、観光情報などをPRするステージイベント「ふるさと北海道応援PRステージ」に参加しました。

ステージでは積丹の様々な美しい風景や、名産品などが紹介され、佐藤会長とともに松井町長、奥山副町長も町の魅力を熱心にPRしました。

また、当日は塩水ウニが当たるクイズでは、沢山の方が回答権を求めて挙手し、会場は大盛況となりました。

このような活動が積丹町観光の活性化につながることを期待しています。



まちの日記帳